



# 笛吹社協だより かけはし

30'冬号  
第53号 平成30年2月発行



## 『市民目線の地域支援』を行う 市民生活支援員・市民後見人

くわしくはP3~5へ



基本方針  
7つのあい

- 知りあい
- つながりあい
- みとめあい
- そだてあい
- ささえあい
- 見守りあい
- 助けあい

### ～ 目次 ～

- P2 ▶▶ ● 人と人 つなぐ架け橋 ボランティア
- P3 ~ P5 ▶▶ ● **特集** 『市民目線の地域支援』を行う  
市民生活支援員・市民後見人
- P6 ▶▶ ● 福祉まつり・ボランティアまつり報告
- P7 ▶▶ ● ふえふきこどものたまり場プロジェクト  
● 「やまゆりの湯」ゆず湯でホッカリ  
● 一宮地区複合的福祉サービス拠点建設事業について  
● 善意の寄付・寄贈の御礼
- P8 ▶▶ ● 「ふえふき通信」



発行

### 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会

住所／〒406-0822 笛吹市八代町南 917  
電話／055-265-5182 FAX／055-265-5183  
発行責任者：社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 会長 早河正弘  
広報「かけはし」には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。

# ボランティア活動推進月間

平成30年 2月1日～2月28日

そだてあい

ささえあい

見守りあい

助けあい

## 人と人 つなぐ架け橋 ボランティア

ボランティア活動は、どなたでも気軽にできる社会貢献活動です。  
ボランティア活動の大切さが改めて見直されている今、  
みなさんも、自分に合った活動を見つけ、参加してみませんか。

ボランティア  
募集!



手伝ってほしい人と、手伝いができる人をつなぐことができます。

いろんな出会いが楽しいですよ!

地域で安心して暮らすために...

健やかな育ちのために...



災害に備えるために...



ボランティア活動のカタチはさまざまです

同じ思いをもった仲間を見つけられます。



生きがいつくりにのために...



一緒にやりませんか?

市民活動・ボランティア活動の情報発信・交換の場として活用できます。

笑顔・楽しみのために...

自立のために...



他にもこんなボランティアがあります!

- ・生活支援ボランティア
- ・子ども支援ボランティア
- ・防災、災害ボランティア
- ・傾聴ボランティア
- ・朗読ボランティア
- ・見守りボランティア
- ・見守り、相談ボランティア 等



お問合せ 笛吹市 市民活動・ボランティアセンター  
 笛吹市八代町南 917 八代庁舎内  
 TEL 055-234-5100 FAX 055-234-5130  
 開所日時：月～金曜日 8:30～17:15



## 市民生活支援員って？ 市民後見人って？

### Q 市民生活支援員とは

社会福祉協議会(社協)が行っている「日常生活自立支援事業」を利用する本人に社協の職員として「生活支援」を行う人

市民生活支援員も市民後見人も、認知症や障がいなどによって、一人で判断することが難しい方の「生活支援」を行います。主に必要な手続きやお金のやりくり等を行います。地域で行政や社協等のサポートを受けながら、権利擁護活動をしています。

### Q 市民後見人とは

「成年後見制度」を利用する本人の成年後見人として家庭裁判所から法的に位置づけられて「生活支援」を行う人

## 市民生活支援員・市民後見人に どうやったらなれるの？

「市民生活支援員・市民後見人養成講座」を受講していただきます。

講座の内容は市民生活支援員・市民後見人として活動するのに必要な基礎知識を身につける“基礎コース”と成年後見制度について深く知り、理解するための知識を身につける“専門コース”を座学で学んでいただきます。

そして、現場研修・フォローアップ研修を経て市民生活支援員・市民後見人となります。

お問合せ： 笹吹市社会福祉協議会  
後見センターふえふき  
TEL.055-265-5182



# 『市民目線の地域支援』を行う 市民生活支援員・市民後見人

## どんな活動をしているの？



年金、健康保険証、重度医療などの生活に必要なサービスや適切な治療、介護等を受けるための行政手続きや、納税、光熱費等の支払い、お金の引き出しや通帳管理等、本人が地域で安心して暮らすことができるようにサポートをします。

同じ地域に暮らす住民が市民生活支援員・市民後見人となるので、共通の話題でコミュニケーションをはかり、信頼関係を築き、本人の生活の幅を広げることができます。また、専門職後見人(弁護士、司法書士、社会福祉士等)と違い、時間に縛られず、「同じ地域住民同士」としてのつながりで地域と本人の社会的な結びつきを助ける大きな役割を果たします。

# 市民後見人 出ツ所雅美さん

「耳を傾け 寄り添った支援」



指導員 作業所の仲間

出ツ所さんは平成22年12月に山梨県内の市民後見人第1号として精神障がいのあるAさんの市民後見人に選任されました。定期的な訪問を行い、Aさんの日常生活での不安や困りごとに耳を傾け、本人の意思を尊重し寄り添った支援を行っています。Aさんは地域の行事に参加するなど本人でできることも多くあり、出ツ所さんはAさんの意思を尊重しています。

月1回、Aさんが毎日通っている作業所で生活費の受け渡しも行っていきます。本人からの困り事に対して、随時、自宅に訪問して対応し、作業所の指導員とも連携をとって支援を行っています。

## 出ツ所さんにインタビュー

Q 市民後見人養成講座を受講しようと思ったきっかけは？

A ボランティア活動を通じ、精神障がい者へ後見制度の情報提供ができたなら良いなと思って受講しました。

Q 市民生活支援員・市民後見人養成講座を受講中に感じていたことは？

A なんて専門家がしている難しいことを市民がやるの？と思いました。



出ツ所さん

Q 市民後見人の候補者として誘われたときはどんな気持ちでしたか？

A えっ！私か！と、不安もありましたが、社協さんが後見監督人としてサポートする体制を知り受けてみました。裁判所から選任され、おっかなびっくりのスタートでした。

Q 裁判所へ行った感想は？

A 書記官・調査官ってなんだか怖いというイメージがありました。が実際会って話をしてみたら、とっても親切丁寧でビックリ！裁判所のイメージが変わりました！



Q 障がいがある方の安心は、障がいがない方も皆が安心する社会、偏見のない地域社会を作ることです！

A これから市民後見人に参加しようか考えている方へのメッセージをお願いします。

A 「やってみよう！」と「出会う」があります。一緒に楽しい活動をしてみませんか。

# 市民生活支援員 片岡国男さん

## 地域で全員での見守り活動

「利用者さんの良きパートナーを目指して」

片岡さんは平成29年12月よりBさんの市民生活支援員として支援を始めました。訪問は月に1回の自宅訪問を行い、生活費をBさんに渡し、生活の様子や本人の生活における話を傾けています。また、気づいたことがあるとケアマネジャー・社協地域事務所へ連絡し連携をしています。

## 片岡さんにインタビュー

Q 最初は緊張されましたか？

A 最初、社協職員と二人でBさんのお宅に伺った後に、はじめて一人で訪問したときは少し緊張しました。

Q どんな時にやりがいを感じますか？

A 話をしていくなかで、Bさんのプライベートな話を聞けたりと信頼関係が築けたときですね。



困りごとに対して連携のパイプ役になりBさんの生活を支えています。また、Bさんから直接困りごとも伺います。

ケアマネジャー

家の周りの草取りや様子を定期的に見守っています。以前、Bさんが転ばれた時、警察から連絡が来た際にすぐに駆け付けるなど、心を寄せさせていただいています。

大家さん

社協地域事務所職員

困りごと・様子を支援されている方から話を聞き、ケアマネジャーと連携してBさんの支援をしています。



市民生活支援員 片岡さん

Bさんが気軽に色々相談してくれるように歩み寄っています。Bさんは性格がとても優しく、お互いに良い関係を築かせてもらっています。

民生委員

週に1回程度『お元気ですか？』と声かけに訪問させていただいています。定期的なBさんの様子を見て、社協へご連絡しています。



デイサービスの様子

Bさんはデイサービスに週3回来ていただいています。お風呂やレクリエーションで運動や買い物など楽しんでいます。

デイサービス



# ミーティング・学習会

「みんなで支え合う」

市民生活支援員・市民後見人になり活動をしていく中で毎月1回、ミーティングを行います。ミーティングではひとりでは悩まず、相談することができます。また、病院への付き添い、お金の管理の仕方、引越越し、携帯の契約についてなど様々なケースでの対応も不安を少なくできるような情報交換をしています。

市民生活支援員・市民後見人と社協職員が共に学び合う場もあります。



ミーティングの様子

## 市民生活支援員・市民後見人にインタビュー

Q 市民生活支援員・市民後見人になり活動をしていく中で毎月1回、ミーティングを行います。ミーティングではひとりでは悩まず、相談することができます。また、病院への付き添い、お金の管理の仕方、引越越し、携帯の契約についてなど様々なケースでの対応も不安を少なくできるような情報交換をしています。

市民生活支援員・市民後見人と社協職員が共に学び合う場もあります。

Q 市民生活支援員・市民後見人でどんな時にやりがいを感じますか？

A 面会の時にとても嬉しそうなお顔をみせてくれた時に後見人をして良かったと思います。

Q 市民生活支援員・市民後見人として活動して下さっている皆さんが不安なく活動できるようにバックアップさせていただきたいと思っています。皆さんとともに地域で支える活動として、支援を必要としている方々と地域を繋ぎ、安心して暮らせる社会を築くことが出来るよう、今後も取り組んで参ります。

<p>坂本かの江さん 何にも難しいことはなく、社協さんが面倒を見てくださいますので気楽に挑戦して下さい。</p>	<p>石原秀恭さん 色々迷うことはあると思いますが、まずは一歩踏み出して一緒にやりましょう！</p>	<p>丹澤節子さん どなたでも人の役に立ってみたいと思い、自分で進んでやってみてほしいと思います。</p>	<p>風間美佐子さん 誰とでも気軽に接することができて、退職後の自由な時間のある方にオススメです。</p>	<p>末山輝國さん 何回か会ううちに彼から手を差し伸べ握手を求めて来た時は感謝の他ありませんでした。</p>	<p>清水惇子さん 面会の時にとても嬉しそうなお顔をみせてくれた時に後見人をして良かったと思います。</p>	<p>小林八重子さん 帰り際に必ず握手をして笑顔をお返ししています。</p>
<p>藤本幸子さん 地域に貢献することで自分自身も元気になる、勉強できますよ。</p>	<p>酒井まさ子さん 社協の方がどんな些細な事でも聞いてくれて一人で悩まずにできます。</p>	<p>片石優子さん 自分自身も学びあう中で、自分の生き方も見つけなおすことが出来ますよ。</p>	<p>江川園美さん 本人の気持ちを最優先に考え支援できる方ですね。</p>	<p>古谷敏章さん 話し好きで世話好きの方が向いていると思いますよ。</p>	<p>加藤浩さん 被後見人さんの笑顔を見たときにやりがいを感じますね。</p>	<p>岩谷正憲さん 岩谷寿美子さん 認知症があってもまた来てくれたねという表情を見せてくれるときです。</p>

市民生活支援員・市民後見人として活動して下さっている皆さんが不安なく活動できるようにバックアップさせていただきたいと思っています。皆さんとともに地域で支える活動として、支援を必要としている方々と地域を繋ぎ、安心して暮らせる社会を築くことが出来るよう、今後も取り組んで参ります。

お問い合わせ 笛吹市社会福祉協議会 後見センターふえふき  
TEL 055-2655-1182 FAX 055-2655-5183

知りあい

つながりあい

みとめあい

# 福祉まつり・ボランティアまつり報告

みんなが“**主役**” みんなで“**つくる**”

## 第5回 八代ふれあい祭り

「一人一人がお互いに支えあう地域を目指し、笑顔で交わそうハイタッチ」をテーマに開催



約 1,100 名の皆さんが集い、老若男女がステージに花を添えました。心を込めて作った芋汁、ポニーとのふれあい体験、笑顔カレンダー、抽選会等実行委員会を中心に地域の皆さんの力で、笑顔とふれあいが溢れるお祭りが開催されました。



## 第4回 いちのみや絆まつり

福祉と健康の増進を図り住民同士の繋がりを深める事を目的に開催

実行委員会を中心に地域の皆さんの協力により、子どもから高齢者まで幅広い年代の約 1,200 名を超える参加があり、多くの地域の方の笑顔と交流がたくさん見られた、「絆」の名にふさわしいお祭りとなりました。



## 第5回 芦川ボランティアまつり

合言葉は「参加すること」  
～町民みんなで  
ボランティアの日～



芦川小学校の「ほかほか祭」と協働で、約 100 名の皆さんが集まり、ほうとうや焼き芋、もみじの植樹、美化活動、愛校作業を行いました。町民総出でみんなが主役、みんなでつくる賑やかなボランティアまつりとなりました。



## 第5回 みさか福祉健康まつり

今年も世代を超えて交流ができました！

当日は天候に恵まれ、町内保育所・小中学校によるステージ発表、スタンプラリー体験、模擬店、抽選会等、600 人以上の皆様のご参加をいただき、盛大に開催され、子どもから大人まで各ブースにおいて笑顔で溢れ楽しいおまつりとなりました。



## 第34回 石和福祉健康まつり

楽しみながら、  
「福祉」と「健康」を考える  
一日になりました！



11 月 12 日の晴々した日曜、スコレーセンター、1,700 名もの参加者がありました。実行委員、石和中、笛吹高校のボランティアと関係団体と一緒に、多くの交流づくりができました。次回も皆さんと一緒に「笑顔」になりたいですね。



## 第25回 春日居ボランティアまつり

各世代大勢の参加で交流ができました

25 回の節目になるボランティアまつりが 11 月 19 日に開催されました。ボランティア団体の活動展示や模擬店、福祉体験等が行われ、800 名を越える参加者や、中学生のボランティアも大勢参加し、活気のあるまつりになりました。



# ふえふき こどものたまり場 プロジェクト

2017年12/24 ~ 2018年1/10

冬休みにも開催されました!

夏号で紹介



**唐柏「こども塾」**  
 王将  
 <主催> 唐柏「こども塾」運営委員  
 みんなで料理して食べたり、将棋で楽しく遊びました。

**ミニ育心塾**  
 <主催> 常徳寺  
 お昼ごはんを一緒に作って食べて、勉強したり遊んだりしました。

**読書感想画教室**  
 <主催> NPO 法人学びの広場ふえふき  
 絵を描きたい本を持ち寄って感動した場面を楽しく表現しました。

**Kaeru Power Plant のクリスマス!**  
 <主催> Kaeru Power Plant  
 協力 NPO 法人 Happy Space ゆうゆうゆう  
 ピザ作り体験と使わなくなったおもちゃの「かえっこ」をしました。

**ぱるランド**  
 <主催> 生活協同組合バルシステム山梨  
 牛乳パックで手漉きはがきを作ったり、オープンサンドを食べました。

**冬の寺子屋**  
 <主催> NPO 法人 笛吹市障がい者を支える会 ありがとう  
 防災について学んだり、自分たちでやさそばを作って食べました。

**子どもチャレンジ教室**  
 <主催> ふえふき子ども・子育て関係者連絡会八代八代町地域福祉推進委員会  
 ほうとう作りをして食べたり、みんなで昔の遊びで楽しみました。

**おしるこ体験**  
 <主催> NPO 法人 みんなの楽校 あつぷる  
 体の温まるおしるこを皆で食べました。



**「ふえふきこどものたまり場プロジェクト」とは...**  
 笛吹市の協力により「ふえふき子ども・子育て関係者連絡会」が主催しています。この会は平成27年2月の第7回笛吹市社会福祉大会をきっかけに平成28年8月に発足しました。笛吹市内で子ども子育てに関する活動を行う団体及び個人が、笛吹市の全ての子ども達がすこやかに育まれるための地域づくりを推進しています。

## 「やまゆりの湯」ゆず湯でホッコリ

春日居福祉会館内のやまゆりの湯では、冬至の日に香り豊かなゆずを浴槽に浮かべました。お風呂の中は、ゆずの香りがいっぱいに広がっていました。入浴利用者は、ゆずに囲まれて「ホッコリするなあ〜」と気持ち良さそうに浸かっていらっしゃいました。お湯の効能は、筋肉痛・関節痛・腰痛・神経痛・冷え性・胃腸機能低下・疲労回復・まだまだ沢山あって紹介しきれません。お肌がツルツルになったと言う声も聞かれます。

◆開館日 毎週火曜日と祝日・年末年始を除いた曜日  
 ◆開館時間 10:00 ~ 20:00  
 但し10月~3月の間は10:00 ~ 19:00  
 お問い合わせ 春日居福祉会館 笛吹市春日居町寺本142-1 0553-26-3667



## 一宮地区複合的福祉サービス拠点建設事業について

笛吹市社会福祉協議会は、住み慣れた地域において、誰もが分け隔てなく支え合う、共生型社会の構築を推進しています。この度、一宮地区の福祉拠点として複合的福祉サービス施設を建設し、**共生型の多世代交流・多機能の福祉拠点とした地域づくり**に取り組みます。

- デイサービス ●個室対応のショートステイ ●障がい者の働く場 ●地域の皆さんが集える場

現在、機能強化を検討中の為、当初予定しておりました平成30年春の開設が延期になります。詳細が決まり次第、お知らせいたします。

## 善意の寄付・寄贈の御礼

皆さまからお寄せいただいた寄付・寄贈は笛吹市の福祉のために活用されています。皆さまの温かいご協力ありがとうございます。 ※順不同になります。10月~12月

- 石和中PTA 様 [石和] 5,240円
- 笛吹市赤十字奉仕団石和分団 様 [石和] タチバナ製作所ブルーファイアバーナー一式
- 笛吹市立石和南小学校 様 [石和] タオル84枚、石鯨36個
- ホテル喜仙 仙友会 様 [石和] 15,000円
- 笛吹市赤十字奉仕団御坂分団 様 [御坂] 10,000円
- 御坂町民ゴルフ大会 様 [御坂] 18,707円
- 御坂町教会 様 [御坂] 30,000円
- 笛吹市立御坂西小学校 様 [御坂] タオル197枚、石鯨96個
- 絆の会 会長 前島治彦 様 [一宮] 21,600円
- 絆の会 グラウンドゴルフ大会 様 [一宮] 5,000円
- 笛吹市ゴルフ連盟一宮支部 様 [一宮] パンフレットスタンド、テーブル2台、イス5脚、クリスマス用品
- 田辺真一 様 [一宮] 50,000円
- 笛吹市赤十字奉仕団八代分団 様 [八代] 8,417円
- 八代地区更生保護女性会 様 [八代] 20,000円
- 雨宮隆 様 [八代] 100,000円
- 梶原いくよ 様 [八代] 手芸品75点 (手編みのマフラー、帽子等)
- 鈴木すみこ(故) 様 [八代] 30,000円
- 笛吹市立八代小学校 様 [八代] タオル120枚、石鯨141個
- マックスバリュ東海株式会社 様 [静岡] 車椅子1台
- 株式会社大塚製薬工場 OS-1事業部 様 [東京] OS-1 PET500ml x 504本、OS-1ゼリー x 480個
- 匿名希望 様 20,000円
- 匿名希望 様 10,000円
- 匿名希望 様 10,000円
- 匿名希望 様 2,000円
- 匿名希望 様 コーヒー・クリーム瓶 14点
- 匿名希望 様 QUOカード 3,000円分



みとめあい

ささえあい

助けあい

障害者  
地域活動  
支援センター

# 「ふえふき通信」



レポート  
by 奈緒

## 私が外に出ることで、 視覚障がいのことを知ってほしい！

自分らしい生活をしている中牧さんを紹介します！

障がいがあることで自分のやりたいことや好きなことを諦めてしまう方もいます。「役に立ちたい！」「好きなことをしたい！」という気持ちは障がいのあるなしに関わらず、誰にでもあります。今回は自分らしい生活をしている中牧さんを紹介します。

「役に立ちたい!!」



こちらは中牧さんが趣味で作ったアクリルたわしです。教わらなくても触れば編み方が分かるそうです。友人やお世話になった方にプレゼントしてとても喜ばれています。最近では東北の被災地にも送っています。

「好きなことをしたい!!」

中牧さんは編み物のほかに、短歌や俳句を作ったり、オカリナサークルに参加したりしています。最近では、童謡をつたう会「ふるさと」にも参加しています。

健康者だけの会に一人で参加するのは初めてで不安だったけど、困っていたら他の参加者が助けてくれた。みんな親切で良かったし、自信も付いた。

中牧さん

童謡をつたう会「ふるさと」の窪田代表と北山先生にもお話を伺いました。

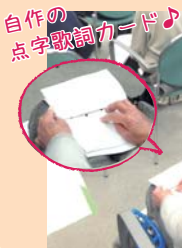


今までに障がい者が参加したことはありませんでした。中牧さんが一人で来て、参加者みんなまで協力しますと言っています。歌う意思のある人は喜んで受け入れます。

窪田代表

中牧さんはみんなと和やかに話をしながら参加しています。視覚障がいということとで特段意識をしたこととはありませんが、言葉で分かりやすく説明するようにしています。

北山先生



自作の  
点字歌詞カード



このスポンは何色がしら？



濃いグリーンですね。

「私が外にでることで、視覚障がいのことを知ってほしい!!」  
家事のほとんどは一人でできますが自宅に届いた郵便物や、着る服の色や柄は見えないため、ヘルパーと一緒に確認をします。

買い物も歩いていきますが、幅が狭い道路は視覚障がい者にとつて危険がいっぱいです。安全に歩くために、ヘルパーと一緒にいきます。



できないところに少しのお手伝いがあることで、中牧さんの行動範囲は広がり自分らしい生活へとつながっています。支援センターではこれからも障がい者の活動を応援していきます。

中牧さん



## 地域啓発研修会 上映会「ひろくんのあるく町」

市からの委託事業である地域啓発研修会を、平成30年1月27日(土)に行いました！

『町の姿は時と共に変わっていくく、でも、変わらなうてほしいものはちゃんこの町に残っている』

障がいがあってもなくても、みんなが町民。大切なことを改めて確認できる温かい映画です。当日の様子は、ブログにて公開します！



「ふえふき通信」は今号をもって最終回となります。長い間、ありがとうございました。次号からは、「地域づくり」についてシリーズでお伝えします。

